

GLOBAL MIND

開智中学校・高等学校 国際交流委員会

～Dartford Grammar School 来校～



10月21日（金）、英国から Dartford Grammar School（以下 DGS）が来校し、終日かけて交流を行いました。DGS と本校の交流は今回で9年目を迎えます。開智ホールでの歓迎式では、生徒を代表して生徒会長の岩橋 悠君が英語で歓迎の挨拶を行いました。校長先生がウェルカムスピーチの中で述べられた各校生徒間の「縁」を大切に考えた歓迎をさせていただきました。このような素晴らしい交流ができることに感謝し、今後の生活に活かしていきましょう。

【異文化交流会】



各班で自己紹介をしたあと、校内の各箇所に設置されたミッションをクリアするというアクティビティを行いました。どの班もみんなで協力し合いながら、全てのミッション達成を目指して頑張る姿が非常に印象的でした。

【百人一首】

4時間目は2年1組の生徒たちと百人一首を通して交流を行いました。DGSの生徒にとっては、普段耳にしている日本語ではない昔の言葉や表現を知って、驚きながらも楽しそうに取り組んでいました。



【授業参加】

DGSの生徒が本校の授業に参加しました。担当の先生には、DGSの生徒にも積極的に参加してもらえるような工夫を凝らした授業を展開していただきました。日本の様々な教科の授業や教室の雰囲気を味わえて、DGSの生徒達は非常に喜んでいました。



【Paper plane contest】

中等部4年1組の生徒と「ギネスに挑戦」と銘打って、長く遠く飛ぶ飛行機作りに挑戦しました。本校の生徒とDGSの生徒が重心の位置や形状などについて話し合い、たくさんの紙飛行機を作りました。後にアルタ体育館で実際に飛ばしましたが、残念ながらギネス記録を樹立することはできませんでした。両校の生徒にはとても良い思い出となりました。



【日本文化体験】（茶道・書道・剣道）



放課後は3グループに分かれて茶道部、書道部、剣道部に参加しました。茶道部では慣れない正座に悪戦苦闘しながらも作法を教えてもらいながらお茶をたてました。書道部ではDGSの生徒が自分の名前を書く練習をして、最後にシャツに自分で名前を書きました。最初は筆の使い方が難しく、思うような字が書けなかった生徒も少しずつ上達しましたね。剣道部ではDGSの生徒全員が道着に着替え、実際に竹刀を使って練習をしました。剣道部の大きな声と強烈な面打ちに驚いていましたが、次第に彼らも大きな声を出しながら面を打っていました。どれもイギリスでは体験できない素敵な思い出となりました。

DGS 交流派遣プログラム

「DGS 交流派遣プログラム」の学校代表生徒として、5年2組 廣尾 衛君が英国の交流校 Dartford Grammar School に向けて出発しました。同プログラムで6月に開智に来ていた ARON 君の家庭に約1ヶ月間ホームステイしながら学校生活を送ります。

“Treasure every encounter, for it will never recur.”

（一期一会）

